

- A. 日時 2012 年 5 月 23 日 (水) 17:00~19:00
- B. 場所 建築会館 B1A 会議室
- C. 出席 主査：羽山広文、幹事：柳井崇、郡公子、委員：(赤司泰義)、秋元孝之、(石川幸雄)、石野久彌、(猪岡達夫)、(宇田川光弘)、(岡建雄)、(川瀬貴晴)、(古賀誉章)、(小林陽一)、坂上恭助、佐々木邦治、(佐野武仁)、(清水昭浩)、高井啓明、(高草智)、(千葉隆文)、仲野章生、(中野淳太)、二宮秀典代理：木下泰斗、(野部達夫)、(本間睦朗)、(吉田治典)
()付きは欠席、敬称略・順不同)

D. 配付資料

- 資料 No.2-1 2012 年度第 2 回建築設備運営委員会議事次第
- 資料 No.2-2 2012 年度第 1 回建築設備運営委員会議事録 (案)
- 資料 No.2-3 第 8 回建築設備シンポジウム実施計画書 (羽山主査)
- 資料 No.2-3-2 第 8 回建築設備シンポジウム企画案 (柳井幹事)
- 資料 No.2-3-3 スマートグリッド建物内 ICT 技術の講演者について (佐々木委員、高草委員)
- 資料 No.2-4 次世代排水システム小委員会第 1 回議事録(案) (坂上委員)

E. 議事：

1. 前回議事録が確認され、承認された (資料 No.2-2)。

2. 環境工学本委員会の報告がされた (郡幹事 (代理出席))。

1)主な報告事項

- ・来年度大会の開催予定が、8/30-9/1 (於：北海道大学) に決まった。
- ・昨年度の小委員会活動成果報告がホームページに掲載される。
- ・今年度大会の環境工学部門の発表題数は 1285 件 (過去 4 位) だった。学会賞受賞記念講演、研究協議会、研究懇談会、環境工学懇親会について、計画内容が説明された。
- ・調査研究委員会の活性化に資する予算配分方法の再構築について検討する委員会が組織された。

2)主な審議事項

- ・AIJES(日本建築学会環境基準)総則の改訂案が審議され了承された。小改訂の場合は、環境基準小委員会に申し入れることで講習会等を省略できる。
 - ・講習会事業が低調のため、基準刊行の講習会、既刊本や委託図書の講習会の企画検討が依頼された。
 - ・シンポジウムの報告がされ、第 8 回建築設備シンポジウムの実施計画も報告され了承された。
- 3)基準刊行の講習会参加費が 1 万円前後と高額である理由について、事務局に確認することになった。

3. 2012 年度第 8 回設備シンポジウムについて審議した。

1)シンポジウム企画案が説明された (資料 No.2-3-2、柳井幹事)。

- ・講演依頼担当の委員からの報告をもとに具体化されたプログラム案について説明された。
- ・第 2 部では、講演依頼の過程で講演内容案が一部変更された。「ファサード」は「意匠設計者から見た ZEB の可能性」、「PV とデザインの融合」は「ファサードデザインと省エネルギーの融合」とした。

2)講演依頼の結果について報告された (資料 No.2-3-3)。

- ・第 1 部の丸の内パークビル、日産グローバル本社ビルについて、それぞれ佐々木委員、高井委員より講演依頼の調整結果が報告された。
- ・第 2 部の ICT・スマートグリッドの講演者について、高草委員の調整結果が補佐担当の佐々木委員より報告された。2つの講演題目を 1つにまとめることもできる。

3)プログラムについて審議された。

- ・「2-8 省エネ③ICT、スマートメータ等」と「2-9 蓄エネ①エネルギー貯蔵技術 or スマートグリッド」は、講演を 1つにまとめることになった。

- ・第1部のプログラム案は以下のようになった。
 - 1-1 福山市学びの館ローズコム 水出喜太郎(日建設計(設備))(敬称略、以下同様)
 - 1-2 丸の内パークビル 高瀬知章(三菱地所設計(設備))
 - 1-3 東工大環境エネルギーイノベーション棟 塚本由晴(東工大(意匠))
 - 1-4 日産グローバル本社 白川裕信(竹中工務店(意匠))
 - 1-5 清水建設本社 調整中(清水建設(設備))
 - 1-6 午前の部 総合討論 進行 石野久彌(首都大学東京)
- ・第2部のプログラム案は以下のようになった。
 - 2-1 ZEBの動向(海外を含む) 川瀬貴晴(千葉大学)
 - 2-2 設計ツール(BIM、シミュレーション) 樋山恭助(東京大学)
 - 2-3 意匠設計者から見たZEBの可能性 鈴木隆(日建設計)
 - 2-4 ファサードデザインと省エネルギーの融合 伊藤(三菱地所設計)
 - 2-5 太陽熱利用、燃料電池 今成岳人(東京ガス)
 - 2-6 店舗建物における省エネと快適性を両立させた照明制御 日高優(パナソニック)
 - 2-7 ICT、スマートグリッド 中野幸夫(電中研)
 - 2-8 HPと蓄熱技術(地中熱等を含む) 長野克則(北海道大学)
 - 2-9 午後の部 総合討論 進行 柳井崇(日本設計)
- ・趣旨説明、まとめ：羽山広文(北海道大学)、司会：郡公子(宇都宮大学)

- 4)会告の準備について審議された。
- ・可能であれば5/25までに会告原稿を準備して、7月号掲載を目指すことになった。
- 5)シンポジウム実施計画書について説明され、審議された(資料No.2-3-1、羽山主査)。
- ・環境工学本委員会にて承認された実施計画書(主旨、プログラム概要、予算案)が説明された。
 - ・北海道からお越し頂く長野先生、羽山先生の旅費は確実に確保することにした。

4. 小委員会の活動報告がされた。

1) 次世代排水システム小委員会(資料No.2-4、坂上委員)

- ・サイホン排水システムの導入事例をはじめとする検討内容が報告された。

2)環境選択型空調設計小委員会(秋元委員)

- ・委員会未開催のため報告事項はない。次回委員会は新菱冷熱本社ビルの見学会も兼ねて開催する。

3) 気象データ小委員会(木下委員代理)

- ・委員会未開催のため報告事項はない。

4)環境建築設計法小委員会(羽山主査)

- ・書籍「見る・使う・学ぶ環境建築」に続く新しい出版企画を検討中である。案として「環境建築を創る人たち」がある。企画案について意見交換された。
- ・次回委員会は東工大テクノステーションの見学会も兼ねて開催する。

4)ガラス建築快適環境WG(佐々木委員)

- ・計画中のガラス建築総合ハンドブックについて、出版社と打合せを行っている。

5. 次回予定 2012年9月20日(木) 17:00~19:00 於：建築会館 (文責：郡)